

AEDの使用方法

⑧-1 AED を傷病者の横に置く

- AED が届いたら、すぐに AED を使う準備に移ります。
- AED を傷病者の頭の横に置きます。
- 機種にもよりますが、AED のケースまたはフタを開けてください。



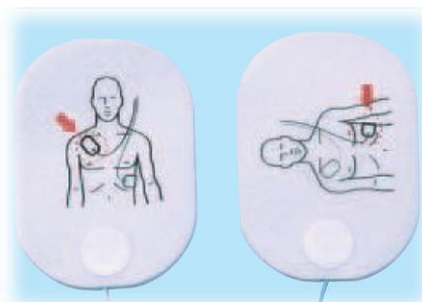
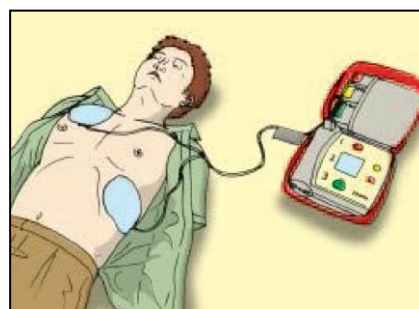
⑧-2 AED の電源を入れる

- AED の電源ボタンを押します。（フタを開けると自動的に電源が入る機種もあります。）
- 電源を入れたら、その後は音声メッセージと本体に点滅するランプに従ってください。



⑧-3 電極パッドを貼る

- 傷病者の衣服を取り除き、胸部が見えるようにします。
- 電極パッドを袋から取り出し、肌に直接貼り付けます。
- 機種によっては、電極パッドから延びているケーブルを AED 本体の差込口に入れる必要があります。
- 電極パッドの 1 枚は胸の右上（右鎖骨の下で胸骨の右）もう 1 枚を胸の左下側（脇の 5～8 cm 下、乳頭の斜め下）の位置に貼り付けます。
（電極パッドを貼り付ける位置は、電極パッドや袋にイラストで描かれています。）
- ◆ 電極パッドは、体表との間にすき間をつくらないようにしっかりと貼り付けます。



電極パッド

※電極パッドを貼り付けるときの注意点

◎傷病者の胸が汗や水で濡れている場合

⇒濡れている場合は、タオル等で拭き取ってから電極パッドを貼り付けます。

※電気が体表の水を伝わって流れてしまうため、AED の効果が不十分になります。

◎胸に貼り薬(ニトログリセリン、湿布薬等)が貼ってある場合

⇒貼り付ける位置にある場合は、はがして薬剤を拭き取ってから電極パッドを貼り付けます。

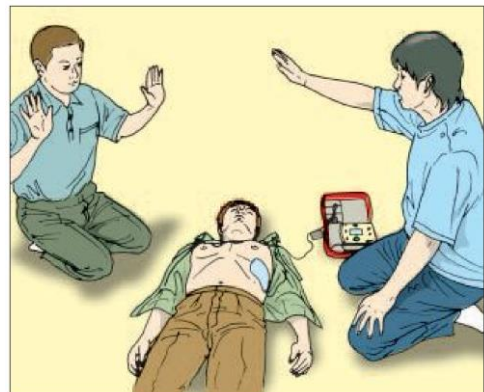
※貼り付け部位にやけどを起こすことや、AED の効果が不十分になります。

◎ペースメーカーや除細動器が体内に埋め込まれている場合

⇒胸の皮膚が盛り上がり、下に固いものが触れるのでよくわかります。そのときは、ペースメーカーや埋め込み型除細動器の出っ張りを避けて電極パッドを貼り付けます。

⑨ 心電図を解析する

- 電極パッドを貼り付けると「心電図を解析中です。患者に触れないでください。」などの音声メッセージが流れ、自動的に心電図の解析が始まります。
- 周囲の人にも傷病者から離れるよう伝え、誰も傷病者に触れていないことを確認してください。
- ◆誰かが傷病者の体に触れていると、振動で心電図の解析がうまく行われない可能性があります。
- ◆一部の機種では解析を始めるために解析ボタンを押さなければ作動しないものもあります。



電気ショックの指示が出たら、ショックボタンを押す

- AED が電気ショックを加える必要があると判断した場合「ショックが必要です。」などの音声メッセージが流れ、自動的に充電が始まります。
- 周囲の人に傷病者の体に触れないよう声をかけ、誰も触れていないことをもう一度確認します。
- 充電が完了するとショックボタンが点滅し、音声



メッセージに従って電気ショックを行います。

- 電気ショックを行った後は、すぐに胸骨圧迫から心肺蘇生を再開します。
- 心肺蘇生2分後に再びAEDによる心電図の解析が行われます。(AEDは2分おきに自動的に心電図の解析を始めます。)
- 解析が始まったら心肺蘇生を中断し、AEDの音声メッセージに従って進めます。
- ◆旧プログラムのAEDにあっても、音声メッセージに従って進めてください。(ショック3回、心肺蘇生1分後心電図解析)

電気ショック不要の指示が出たら、心肺蘇生を開始する

- AEDの音声メッセージが「ショックは不要です。」などであった場合は、その後に続く音声メッセージに従って、すぐに胸骨圧迫から心肺蘇生を再開します。
- 解析は定期的に行われるので、電極パッドは救急隊が到着するまで、はがさないでください。
- ◆心肺蘇生とAEDの操作は“傷病者が普段どおりの呼吸を始める”“目的のある仕草が認められる”“救急車が到着し救急隊に引き継ぐ”まで諦めずに繰り返してください。
- ◆音声メッセージが伝える「ショックは不要です。」とは、脈拍が再開したためによるものと、心臓のふるえがとれただけ(心静止)の場合に分けられます。
- ◆目的のある仕草(普段どおりの呼吸)はあるが反応がない場合は、傷病者を回復体位にして救急隊の到着を待ってください。

到着した救急隊に伝える

- 救急隊が到着したら、傷病者の倒れていた状況、実施した応急手当、AEDのショックを加えた回数などを伝えてください。

参考

AED は、成人（小学生以上）はもとよりですが、小児（乳児を含めた未就学児）に対しても使用することができます。

小児（乳児を含めた未就学児）に対する AED の使い方

① AED の小児用パッドがある場合の手順

- ・ 小児用パッドは乳児を含めた未就学児の傷病者のみに用いることができます。
- ・ 傷病者が未就学児と推測され、現場に小児用パッドがある場合には、それを使用してください。
- ・ 貼り付け位置は、パッドに描かれているイラストに従ってください。
- ・ その他の手順は成人に対する AED の使い方と同様です。

② AED に小児用モードがある場合の手順

- ・ AED には、小児用モードと呼ばれる機能が付いた機種もあります。これを用いる状況は、小児用パッドと同様に傷病者が未就学児と推測されるときに使用します。
- ・ 小児用モードの機能が付いた AED の場合は、成人用パッドを用いますが、小児用パッドよりも大きいので、パッドが触れ合わないよう配慮して貼り付けてください。
- ・ その他の手順は成人に対する AED の使い方と同様です。

③ 小児用パッドも小児用モードもない場合の手順

- ・ 小児用パッドも小児用モードもない場合は、成人用パッドを使用してください。

注意：成人に小児用パッドは使用しないでください。ショックの効果が不十分です。